ゆうらいふ通信

平成 30 年 10 月 発行

9 月 17 日、 花梨どこでもサロンで「フルートとピアノのアンサンブルコンサート」を開催しました
〈ピアノ〉 岡本敦子さん・〈フルート〉 純香さん（母娘）が、 素敵な演奏を披露くださいました

トピックス

ゆうらいふの取り組みや、各事業所の活動、介護の情報など配信中です！

Find us on Facebook

- ごあいさつ
- ゆうらいふトピックス
- キラリ人★
- 新スタッフのご紹介
- コラムコーナー「プロフェッショナル」 など

出前講座に伺いま～す！

◆ 安土町石寺自治会やまびこ会 様

7/21「健康に暮らすためのからだづくり～ “動く” ことと“食べる”こと」をテーマに講座をさせていただきました。健康長寿のため、日々の生活の中で実践できることについてお話しさせていただきました。 （若山晃）

◆ グループホーム立花 様

8/11「福祉サービスにおける接遇、入浴支援における留意点、腰痛予防について、福祉用具の活用について」をテーマにお話しさせていただきました。障害や高齢者など垣根を越え今後も共に学んでいきたいです。（津田征志・若山晃）

その他、自治会や事業所、会社、団体より依頼をいただき多様なテーマで出前講座を実施しています

ゆうらいふ 専門職によるコラムコーナー プロフェッショナル リレーコラム

理学療法士
若山（わかやま） 晃（こう）

今、一番欲しいものは
ジャイロキャノピーです！

厚生労働省は、「**2040 年までに 3 年以上健康寿命を延伸すること**」を目指しています。 テレビや雑誌・本などで取り上げられる健康法には、「〇〇するだけで治る」や「〇〇すれば一生健康」などセンセーショナルなものが多く、 試してみた方もいると思います。

しかし、 どんな健康法でも三日坊主ではだめです。 長続きする健康法は何でしょうか？それは **“呼吸・姿勢・歩行”** の 3 つを正しく行うことです。 人は、 1 日 2 万回以上呼吸し、 重さ約 5 kg の頭を支え、 約 6,400 歩あるきます。**普段無意識で行っていることをちょっと意識して行うだけで効果的な健康法になります。 小さな変化から始めて日常生活の一部に組み込むことが長続きの秘訣です。**

←ジャイロ
キャノピー

編集後記

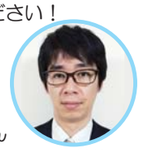
衣替えの季節です。今年こそ、白い T シャツやブラウスを中心に「しまい洗い」して片付けたいと思っています。「しまい洗い」とは洗濯済みの洋服も、収納の前にもう一度洗濯することです。夏の汚れは皮脂や汗が含まれており、粉洗剤での洗濯が適しているそうです。カラッと秋晴れの日が来たら、実行したいと思います！

お知らせ

すいれん 秋祭 SUIREN

10月14日(日)
11 時 30 分～
【会場】すいれん
守山市川田町 1541-4

ステージ企画に模擬店など楽しい催しを準備して
お待ちしております！ぜひお立ち寄りください！



【お問い合わせ】すいれん
TEL：077-581-4606　山瀬芳樹

インスタグラム始めました！

ゆうらいふ吉身

Instagram
#ゆうらいふ吉身

日々の様子やイベント案内など発信中！
アカウント：youlife_yoshimi

◆◆◆ 研修会報告 ◆◆◆

◆「食中毒の予防について」7/19

外部講師を招き、①最近の食中毒の動向②今回知っておきたい食中毒菌③食品衛生法改正と自主衛生管理をテーマに勉強しました。6/13 に食品衛生法の一部を改正する法律が交付され、全事業所に HACCP に沿った衛生管理が義務付けられることになりました。今後の予防対策について職員間で意見交換をし、学びを深めました。

◆「嚥下障害の診断と治療」8/30

草津総合病院　頭頸部甲状腺外科センター　河本勝之氏

嚥下の仕組み、嚥下障害の症状と手術の種類などについて学びました。手術の利点と不利益や、術後の経過や本人の感想なども含めいくつかの事例を紹介いただきました。

◆「ゆうらいふの防災対策」9/20

今夏は豪雨災害、台風災害、地震と多くの自然災害が起こり、災害対策への新たな課題が連日報道されました。この学びを活かし今後のゆうらいふの防災対策を見直す機会として部門ごとに意見交換を行い対策を検討しました。

特定非営利活動法人ゆうらいふ
事務局
守山市立田町 1231-4
TEL：077-585-4070
【Web】http://www.youlife.ne.jp
【メール】info@youlife.ne.jp
お気軽にお電話ください

ゆうらいふ	●居宅支援事業所●デイサービス ●総合事業 ●福祉用具販売●事務局	〒524-0214 守山市立田町 1231-4 ☎077-585-4070
すいれん	●グループホーム ●デイサービス ●総合事業	〒524-0001 守山市川田町 1541-4 ☎077-581-4606
花梨（かりん）	●小規模多機能型居宅介護事業所●グループホーム●事業所内保育所（認可）●ナースステーション ●ヘルパーステーション ●定期巡回・随時訪問型訪問介護看護	〒524-0214 守山市立田町 4135-1 ☎077-599-0531
ゆうらいふ吉身	●居宅支援事業所 ●総合事業	〒524-0021 守山市吉身 3 丁目 3-8 ☎077-598-5035

「リーダーが情熱を持ち方向性をしめし、変わらなければ部下も変わらない」

管理職の研修を実施しました

理事長　山田 亘宏

今年度は「経営を経験する」と銘打って、管理職（付け）の 25 名を対象に研修を行いました。4 ヶ月に亘り、外部組織の講師を依頼し、8 回に及ぶ講座でした。30 ～ 40 代の若い幹部候補生が中心で、強い刺激を受けたと思います。

「課題発見～計画～実行～振り返り」というサイクルを繰り返し、サービスの改善と職員の意欲と資質の向上をめざすと共に、リーダー自身の資質や徳目、責任感を自覚していく成長の講座であったと喜んでいます。

利用者の皆さん、職員の皆さんも私共々、今後のゆうらいふを担っていく管理者（候補）が成長していく姿を温かく、時には厳しい目で見守って頂きますようよろしくお願いします。

小尾 佳高　ゆうらいふ居宅介護支援事業所

①子ども 3 人と公園めぐり
②14 年間、介護の仕事をしてきました。これまでの経験を活かして、一生懸命取り組んでいきたいです。

林 志保子　リハビリスタジオゆうらいふ

①守山のパン屋 kupu の塩あんぱん
②よく食べ、よく寝て、よく遊ぶ。この生きる基本を楽しく共有できるよう、お仕事頑張ります！

原田 裕希奈　リハビリサポートすいれん

①アコースティックギター＆お菓子作り
②自分が笑うと利用者さんも笑ってくださるのが嬉しいです。緊張しますが、頑張ります。よろしくお願いします。

國友 沙弥加　保育所かりん

①手芸、旅行、体を動かすこと
②初めてのことばかりで、毎日覚えることに必死ですが、みなさんと毎日笑顔で過ごせるようにしたいと思っています。

梅影 美知子　小規模多機能 花梨

①b リーグ観戦 (沖縄のチームがお気に入り)
②ご利用の皆さんが笑顔で過ごして頂ける様、自分自身も笑顔を忘れず、接していけたらと思っています。

新スタッフのご紹介

①私のマイブーム　②入職にあたり一言

職員のご紹介

ゆうらいふには、親子など家族で勤務する職員がたくさんいます。そんな中、親子 3 人で働く職員を紹介します！

東 好子さん（母）
東 雄太さん（兄・右）
東 直人さん（弟・左）

好子さんはヘルパーステーション、雄太さんはグループホームすいれん、直人さんはリハビリサポートゆうらいふと、それぞれ別の拠点に勤務しています。3人揃ったこの日、利用者さんや職員から「珍しいね」とたくさんの声がかけられていました。休みの日には一緒に出かけることもあるそうで、とても仲の良い様子がうかがえます。

キラリ人★ 河合 明子さん

9 月 1 日、ゆうらいふ吉身「土曜講座」で『「一字書」にチャレンジ～書の魅力を体験してみませんか？』講座を開催しました。講師の河合明子さんは、日本書道教育学会会友の書道家であり、長年指導にも携わってこられました。
今回の書のテーマは「一字書」。ゆうらいふにちなみ、「ゆう」の字を題材に選んでくださいました。素敵なお手本と、丁寧な指導で、参加された皆さんからは「楽しかった」「久しぶりに筆を持ち気持ちよかった」「上手にかけてうれしかった」と好評をいただきました。お手本は額に入れ、ゆうらいふの各拠点に飾らせていただいています。
新コーナー「キラリ人」。初回は「キラリ」というより**「凛」**としたイメージの河合さんを紹介させていただきました。

▲「ゆう」の一字書手本　左から「優」「友」「遊」「祐」「悠」の５文字

河合さんの道具（左）
教室に参加した職員・永井の書（右）

秋のゆうらいふ トピックス

リハビリサポートすいれんでお風呂を増設 デイサービスの利用定員を増員しました

9 月から利用定員数を 24 人から 30 人へ変更しました。また、入浴希望者に対応できるよう、お風呂を増設し、環境を整えました。「身体状況の変化」「重度化への対応」などお一人おひとりの身体の変化に対応し、自立入浴から介助入浴まで対応いたします。

腰掛スペースや手すりなどがあり自立しての入浴も支援します▶

花梨夏祭りを開催しました

7 月 28 日、花梨で夏祭りを開催しました。連日の猛暑もあり屋外での流しそうめんは取りやめましたが、大変盛況で、利用者様、家族様、地域の方、保育所かりんの園児・卒園児ご家族など多くの方に参加いただきました。模擬店の他、盆踊り、太鼓の演奏、ビンゴ大会、バルーンアートなど、ボランティアの皆さんにもご協力いただき、楽しいお祭りが開催できました。ありがとうございました。

在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク「第 24 回全国の集い in 大阪」で 5 演題発表しました

9 月 23 日、24 日に NPO 法人在宅ケアを支える診療所市民全国ネットワーク全国の集いに参加しました。今年は大阪会場と近くでの開催だったこともあり、職員 19 名が参加しました。また、5 名が演題発表を行いました。
社会情勢に合わせ、「地域共生社会」「ICT」「人材育成・確保」をキーワードとする講演が多く見られ、子どもから障がい者、高齢者が安心安全に住める地域づくりとは何か考えさせられたり、働き方や今後の介護事業に大きな変革を求められると実感させられる内容でした。
参加した職員からは「次の日から現場で取り入れてみよう !! と前向きになれた」「認知症の対応の奥深さに感動した」「全国から福祉・医療関係者が集まり、福祉業界の未来を考えるこのような集いに参加でき良い経験になった」などの声が聞かれました。
学会で得られたことを実践していけるよう、研鑽を重ねていきます。

深田知洋江さん
江川萌美さんの
発表がフォローアップ賞を受賞

保育所かりんに芝生コーナーができました

かりんの砂場の横に、芝生コーナーができました。夏場は、毎日朝夕と水やりし、猛暑を乗り越え、ようやく根付いた芝生で遊べるようになり、子ども達は大喜びです。
芝生の上で、「よ～い、ドン」と保育者と一緒に走り回ります。また、1、2歳の子ども達にとっては、ゆるやかな斜面も大きなお山になり、「ヨイショ、ヨイショ」とうまくバランスを取りながら登ったり降りたりを繰り返し楽しんでいます。
お山の上から「お～い」と呼ぶ姿はとってもかわいいです。0 歳児も裸足で芝生の上をハイハイしたり保育者と触れ合って遊ぶことを喜んでいます。
子ども達が運動機能を獲得する大切な時期、一人ひとりの発達に合わせて、大好きな保育士と一緒にいっぱい身体を動かして遊べるようにしていきたいと思います。